

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 9 巻第 26 号

第 26 週 (6月22日 ~ 6月28日)

発行年月日:平成21年(2009年) 7月 2日

発行 行 :滋賀県衛生科学センター内  
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

### 今週の感染症発生動向

#### 滋賀県内で 8 例目の新型インフルエンザ発生

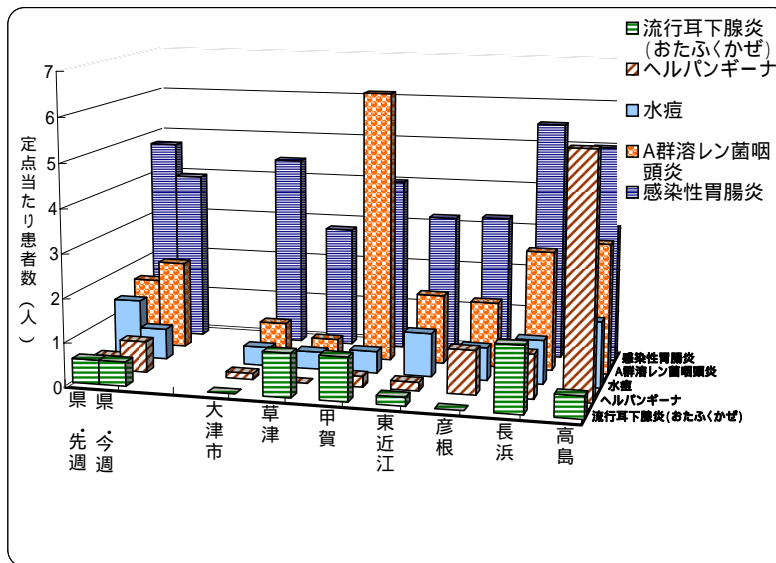
定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、先週よりかなり少なくなり、特に感染性胃腸炎および水痘で減少しています。今週増加した疾患はA群溶レン菌咽頭炎、ヘルパンギーナおよび細菌性髄膜炎です(他の疾患については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

**新型インフルエンザについては、6月28日に甲賀保健所から1名、6月29日に草津保健所から1名および6月30日に大津市保健所から2名の届出がありました**(発生状況については下記グラフ参照)。

「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」による保健所管内別の警報の発生状況については、該当する疾患はありません。

全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で6名、五類感染症の劇症型溶血性レンサ球菌感染症で1名の届出がありました。

#### 上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第26週、定点当たり患者数)

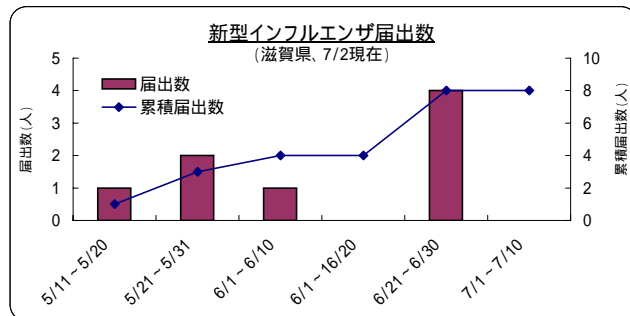


県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、A群溶レン菌咽頭炎、水痘、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の順に多くなっています。

A群溶レン菌咽頭炎は甲賀で再び増加し、先週の約倍増となっています。

ヘルパンギーナは高島で先週よりさらに増加しています。

#### 新型インフルエンザ(インフルエンザA/H1N1)発生状況



NO	届出日	年齢	性別	推定感染地域	保健所
1	H21.5.20	23	男性	日本国内	大津市
2	H21.5.23	16	男性	日本国内	大津市
3	H21.5.27	36	男性	日本国内	大津市
4	H21.6.7	30	男性	日本国内	彦根
5	H21.6.28	59	男性	アメリカ	草津
6	H21.6.29	48	男性	アメリカ	甲賀
7	H21.6.30	63	女性	アメリカ	大津市
8	H21.6.30	8ヶ月	女性	日本国内	大津市

7月1日 11時現在における日本国内の新型インフルエンザの届出数は、44都道府県から1,336名となっています。また、性別では男性 759名、女性 577名となっています(厚生労働省提供資料より)。

7月1日 18時現在における世界の新型インフルエンザの症例数は、120か国から77,201名となっています(WHO情報より)。

## 1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (26週)	累積報告数		平成20年報告数	
			滋賀 (26週)	全国 (26週)	滋賀	全国 <sup>(*)</sup>
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	6	131	12,734	282	28,419
三類感染症	細菌性赤痢	0	0	86	<sup>(*)</sup> 3	320
	腸管出血性大腸菌感染症	0	3	859	53	4,322
四類感染症	E型肝炎	0	1	22	0	43
	A型肝炎	0	0	69	3	170
	コクシジオイデス症	0	0	2	1	2
	デング熱	0	0	31	2	104
	マラリア	0	0	25	1	56
	レジオネラ症	0	3	303	10	893
五類感染症	アメーバ赤痢	0	7	403	10	872
	ウイルス性肝炎	0	1	102	5	241
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	1	62	2	152
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	2	71	1	113
	後天性免疫不全症候群	0	3	718	11	1,568
	ジアルジア症	0	0	41	1	76
	梅毒	0	0	362	5	839
	破傷風	0	2	51	5	123
	急性脳炎	0	0	107	1	190
	風しん	0	2	98	2	309
	麻しん	0	1	439	39	11,015

\*1: 平成20年の全国報告数は、平成20年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

感染症発生動向調査事業年報暫定値(国立感染症研究所感染症情報センター)

\*2: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。

### 全国における全数報告感染症の発生状況 - 第26週(6/22～6/28) -

一類感染症: 報告なし	二類感染症: 結核	272例	三類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症	70例	細菌性赤痢	3例	腸チフス	1例	四類感染症: A型肝炎	2例	四類感染症: つつが虫病	1例	オウム病	2例	日本紅斑熱	2例	レジオネラ症	15例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群	11例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	破傷風	2例	風しん	1例	麻しん	15例
-------------	-----------	------	--------------------	-----	-------	----	------	----	-------------	----	--------------	----	------	----	-------	----	--------	-----	-------------------	-----	----------------	----	-----	----	-----	----	-----	-----

## 2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点\*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。\*疾患により定点数は異なります。

### (1) 疾病別・週別発生状況(平成21年第21～26週, 5/18～6/28)

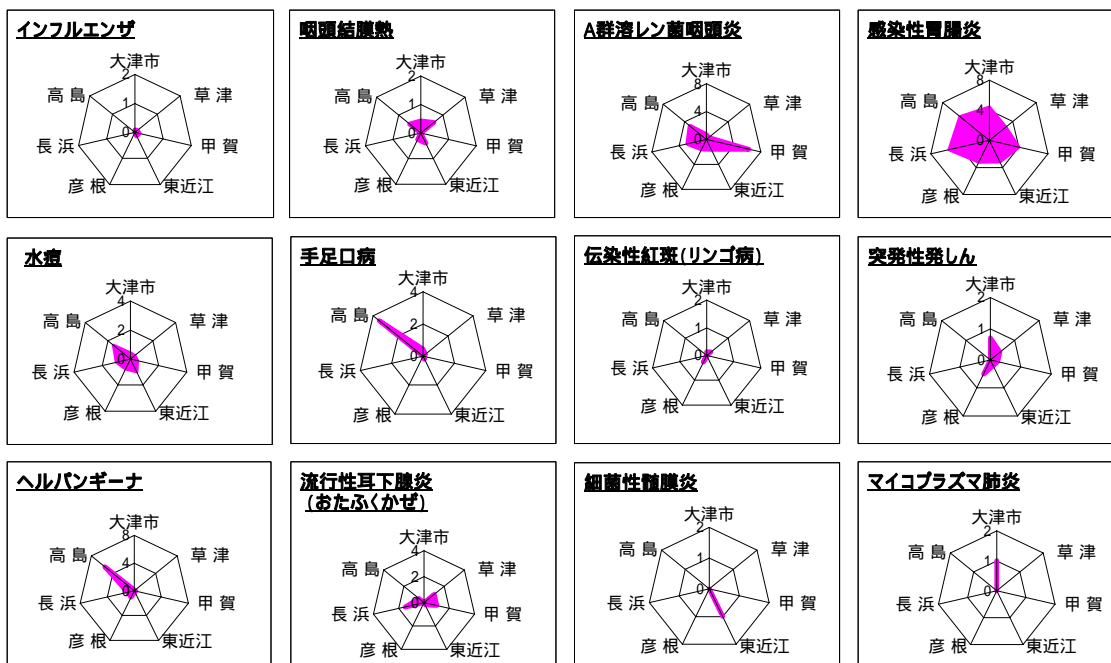
疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)						
	21週	22週	23週	24週	25週	26週	週
	(5/18～)	(5/25～)	(6/1～)	(6/8～)	(6/15～)	(6/22～)	22 23 24 25 26
インフルエンザ	1.94	0.77	0.58	0.27	0.15	0.08	
RSウイルス感染症	0.10	0.13	0	0.03	0.03	0	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.35	0.32	0.45	0.26	0.35	0.32	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.87	1.84	1.32	2.06	1.58	2.03	
感染性胃腸炎	6.74	5.58	4.55	4.94	4.71	3.94	
水痘	1.45	1.48	1.10	0.87	1.35	0.71	
手足口病	0.32	0.19	0.45	0.35	0.61	0.39	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0.16	0.13	0.19	0.13	0.10	
突発性発しん	0.23	0.35	0.55	0.32	0.48	0.35	
百日咳	0	0	0.03	0.06	0.03	0	
ヘルパンギーナ	0.42	0.39	0.35	0.32	0.32	0.71	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.29	0.48	0.58	0.52	0.55	0.55	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.13	0.25	0.38	0.25	0.13	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0.14	0	0.14	
無菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.29	0.29	0.29	0.43	0.29	0.14	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第26週、6/22～6/28)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)									疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	0	
インフルエンザ	0.08	0.09	0.11	0.14	0.13	0	0	0	0	
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.32	0.43	0.60	0	0.40	0.25	0	0.50		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.03	0.71	0.40	6.25	1.60	1.50	2.75	3.00		
感染性胃腸炎	3.94	4.43	2.80	4.00	3.20	3.25	5.50	5.00		
水痘	0.71	0.43	0.40	0.50	1.00	0.75	1.00	1.50		
手足口病	0.39	0.43	0.20	0	0.20	0	0	3.50		
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.10	0.14	0.20	0	0	0.25	0	0		
突発性発しん	0.35	0.71	0.40	0.25	0.20	0.50	0	0		
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0		
ヘルパンギーナ	0.71	0.14	0	0.25	0.20	1.00	1.00	5.50		
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.55	0	1.00	1.00	0.20	0	1.50	0.50		
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0		
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0		
細菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	1.00	0	0	0		
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0		
マイコプラズマ肺炎	0.14	1.00	0	0	0	0	0	0		
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0		

■ は定点当たり患者数が先週より増加 ■ は警報発生中 ■ は注意報発生中

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



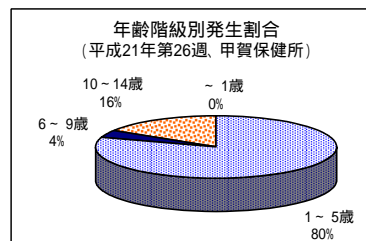
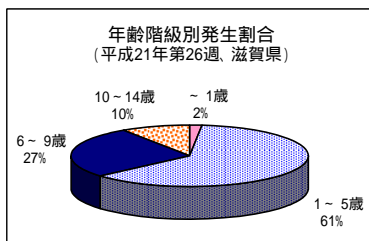
(3)今週の発生状況

A群溶レン菌咽頭炎----県全体では先週より増加し、甲賀、長浜および高島でかなり多くなっています。特に甲賀では先週減少したものの今週再び増加し、定点当たり患者数は6.25と多くなっています。甲賀における年齢階級別発生割合は1～5歳 80.0%、6～9歳 4.0%、10～14歳 16%となっています。

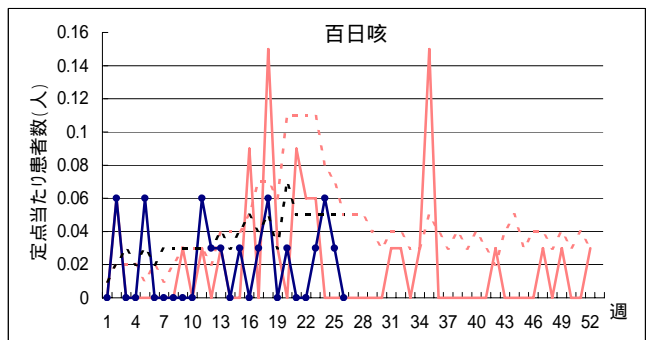
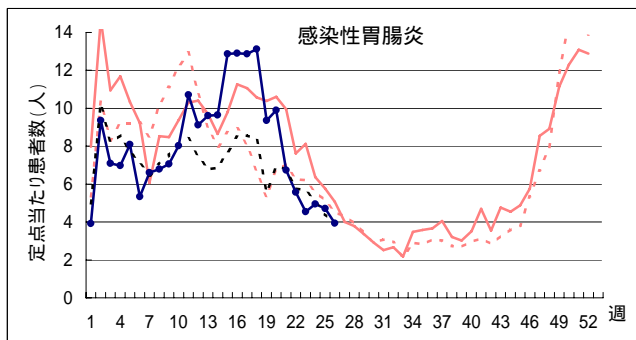
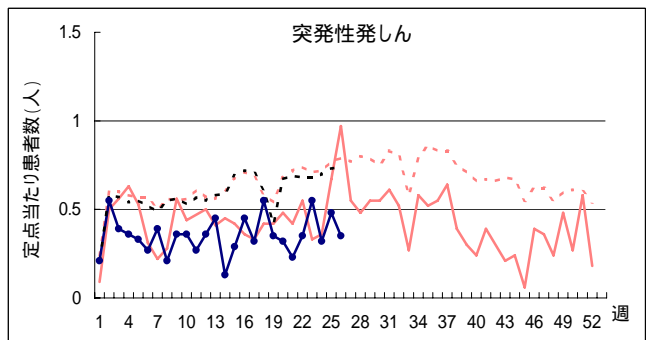
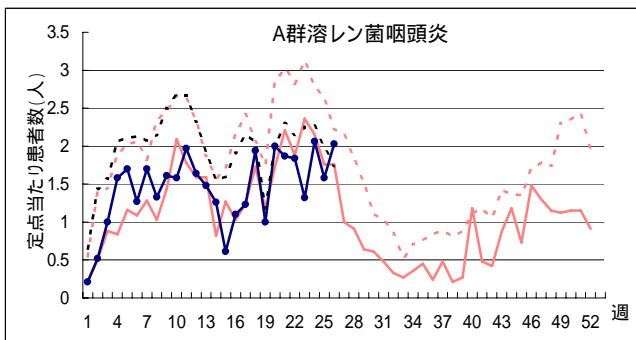
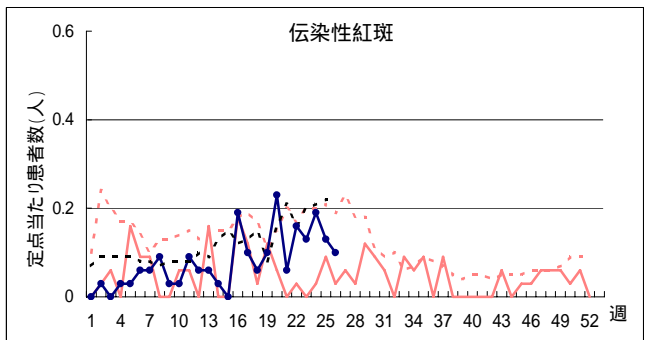
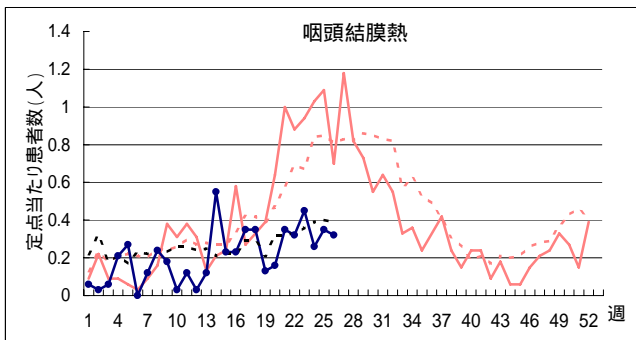
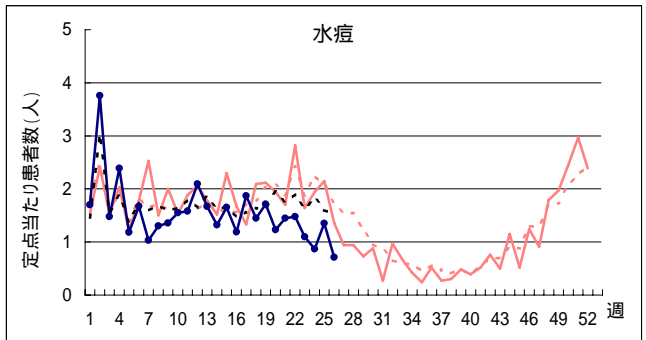
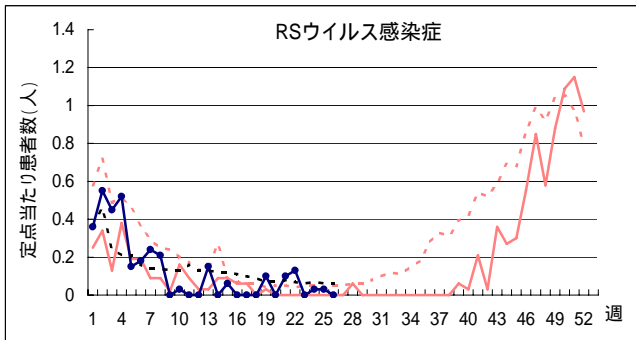
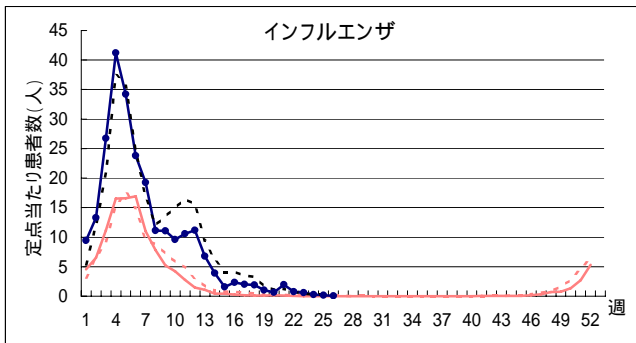
感染性胃腸炎-----県全体としては先週より減少していますが、東近江以外では先週より増加しています。

ヘルパンギーナ-----高島では先週よりさらに増加し、県全体としては先週の倍増(定点当たり患者数 0.71)となっていますが、昨年の同時期(定点当たり患者数 2.09)と比較すると非常に少なくなっています。

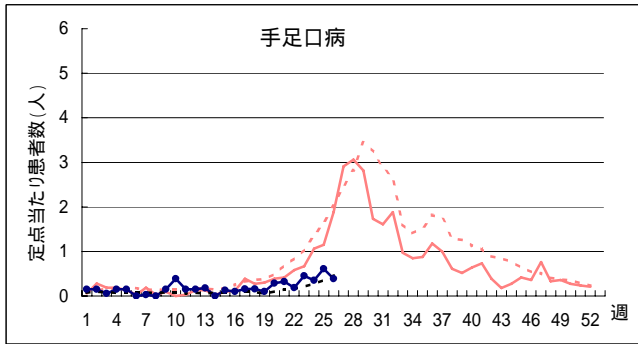
A群溶レン菌咽頭炎の年齢階級別発生割合



# 疾病別定点当たり患者数(平成21年第26週、H19.12.29～H21.6.28)



# 疾病別定点当たり患者数(平成21年第26週、H19.12.29~H21.6.28)



H20  
 〔 滋賀 ————  
     全国 - - - - -  
 H21  
 〔 滋賀 ————  
     全国 - - - - -

